

より利用しやすい 図書館を目指して

たくさんの本や情報が集まり、私たちの知識を豊かにする場として親しまれている図書館。インターネットの普及などにより、多くの情報を得られるようになった今、図書館の役割が見直され始めています。今回の特集では、これまで図書館が担ってきた役割を振り返るとともに、皆さんに活用してほしい図書館サービスや、4月にリニューアルする中央図書館を紹介。札幌の図書館が目指すべき姿に迫ります。

この特集に関する問い合わせは、中央図書館管理課 ☎512-7330



図書館・図書室のあゆみ

— 気軽に本に触れられる環境づくり —



【昭和25年～】 各区に図書館・図書室ができ、本がより身近に

札幌で最初の市立図書館は、昭和25年に時計台の中に誕生。その後、誰もが利用しやすい身近な学習施設として親しんでもらえるよう、地区図書館や図書室を整備していきました。



【平成18年～】 サービスを見直し、貸し出し機能を充実

開館日時の拡大や、地下鉄大通駅に図書の貸し出しや返却ができるカウンターを設置したほか、平成20年にはインターネット予約も開始。より本が借りやすい環境になり、貸し出し冊数も増えていきました。



↑時計台内に開設された、市立札幌図書館での蔵書一斉点検の様子。蔵書数は約13,000冊でした

■貸出冊数の変化(単位:万冊)

